

令和5年度 岸和田市指定管理者モニタリングチェックシート

1. 基本情報

施設名（所在地）	岸和田市立浪切ホール（岸和田市港緑町1番1号）		
指定管理者名	南海・テレ岸グループ		
指定管理料	255,395,203円	指定管理期間	令和4年4月1日～令和10年3月31日（6年間）
公募/非公募	公募	施設所管課名	魅力創造部文化国際課
施設運営の根拠となる計画等	文化創造ビジョン・岸和田 該当ページP54～P55		

2. 事業報告書の概要

管理業務の実施状況	基本協定書・仕様書に基づき、施設管理を適切に実施した。
運営業務の実施状況	企画事業では、コロナ過の制約が緩和され、入場制限や中止講演もほとんどない状況となり、人々の行動範囲も急速に広がる中、おおむね予定通りの事業実施ができたが、貸館業務については、生活様式の変化もあり、以前の利用状況に追いつく形とはならなかった。
施設の利用状況	利用者数推移（3か年度分記入してください。）
	令和3年度 371,198人 令和4年度 404,582人 令和5年度 452,513人
	入場料収入等推移（3か年度分記入してください。）
	令和3年度 66,466,728円 令和4年度 79,429,458円 令和5年度 86,774,636円
	上記推移の理由等
令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響を受け、利用者数や利用料金ともに大幅に減少したが、令和5年度になり、貸館業務については、コロナ禍前の利用状況に戻らない状況が続いたものの、企画事業を始めホール等の催し物の事業については回復を見せたため。	

3. モニタリングチェック

総合評価	個別評価・理由・意見等
A1	1. 履行確認
	A1 基本協定書及び仕様書に沿った管理運営を行った。
	2. サービス水準の確認
	A1 事業計画書に基づき適切にサービスの提供を行った。
	3. 事業収支の確認
	A 新型コロナウイルスの影響、光熱水費の増高による、やむを得ない収支の減を除き、適切に執行した。
総合評価理由・意見等	
周辺エリアを代表する文化芸術の発信施設である。企画事業では、定番の事業のほか、計画で定めた各種事業に取り組み、おおむね予定通りの事業実施ができた。	

4. 今後の方向性

業務実績を振り返り、今年度どのような取組みを実施する予定か（今年度の事業計画書等に反映された点）。	令和6年度からは、指定管理者の3年目となるため、さらなる館の管理運営、企画事業の更なる充実などを求めている。 館の管理事業では、業務ごとに責任者を適切に配置し、チェック体制を整え、履行品質を担保するよう務める。 企画事業では、乳幼児や障害を抱えている人を対象とする事業を加えるよう仕様書で定めているため、引き続きそれらの実践を図る。その他、環境への配慮や館の利用者の利便性の向上を図っていく。
---	--